

2024年5月21日(火)

R6年度 第1回サイエンスダイアログ報告

(受講者：2・3年生理数コースの生徒)

今回は名古屋大学の大学院多元数理科学研究所より Dr. Yaddaden 氏をお招きしました。Dr. の研究内容である「多重L 値のダブルシャッフル関係式の幾何学」や出身国アルジェリアの概要について英語で講義を受けました。

【生徒の感想】

- 無限級数や ζ (ゼータ) 関数など知らないことをたくさん知れてよかった。
- 普段何気なく使っている xy などの代数の役割が分かって面白かった。
- ζ (ゼータ) 関数に入る前の導入を細かく伝えてくださったので本題の内容も思った以上にスムーズに理解することができた。
- 数学に関する講話のため、英語で内容が分からなかったところも数学の知識で「こういうことを言っているのかな?」と内容をつなげられるところが多くあり理解しやすい点がよかった。
- 研究する意義やきっかけを知れると同時に、英語の学習もできてよかった。
- 講義の雰囲気を感じ取ることができてよかった。自分が英語をどれくらい聞き取れるのか知ることができてよかった。難しい数学を英語で理解するのは難しかったが楽しかった。

Dr. が「数学は“宇宙”だ。そして数学を通して世界の人々をつなげることができる！自分の宇宙を拓けられる！」とおっしゃっていました。Dr. の熱い思いが伝わり、生徒の探究心はさらに高まったと思います。第2回目は2学期に開催予定です♪



(サイエンスダイアログとは独立行政法人日本学術振興会の制度を利用し、大学や研究機関で活躍する外国人研究者による講義を聞き、研究への関心や国際理解を深める講演会です。)